レゴブロックを使った 欠陥の「見える化」 -- バグレゴによる試行 --

(株) チェンジビジョン TRICHORD開発部 懸田 剛

アジェンダ

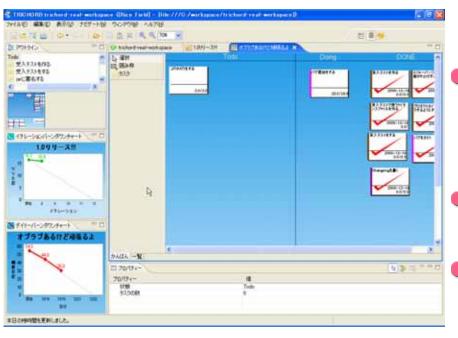
- バグレゴとは
- ●背景
 - チケット管理システムの利点と欠点
- バグレゴの試行
 - 効果、課題、
- 今後の展開

バグレゴとは

- 欠陥をレゴブロックで表現する見える化手法
 - ブロックの形、位置、積み方などで表現
- 誰でもわかる欠陥在庫
 - 開発者はもとより、マネージャー、営業でも
- 物理的制約による欠陥のサルベージ
 - レゴ板という物理的制約をつけることで一定量以上欠陥が増えないようにサルベージを強制
- 開発者の欠陥に対するマインドセットの変化
 - 欠陥の報告を少しでも前向きなものに

背景





http://trichord.change-vision.com/

- 製品開発(TRICHORD)プロジェクト
- チケット管理システムを使用 (trac)
- 欠陥の在庫が見えに(い
 - 欠陥在庫を如何に見えるようにするか



チケットシステムの利点と欠点

- 利点
 - ●追跡性
 - 状態保持
 - 詳細登録
- 欠点
 - 見えにくい
 - 優先順位付けがしづらい
 - 全体のボリュームを把握しづらい

チケット管理システムの 欠点を克服するには?

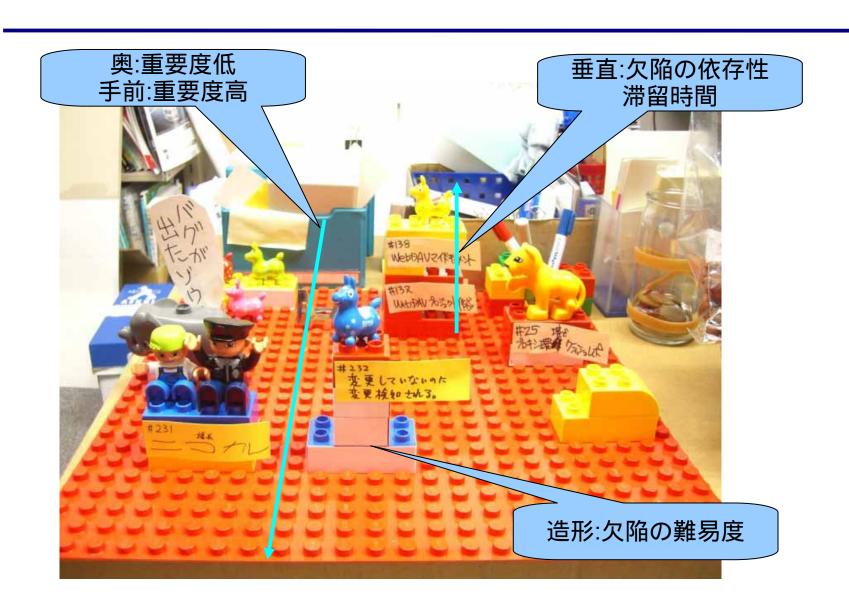
- 在庫がわかること
 - メールで登録時に配信するなど
 - ・メールは流れていってしまう
- どんな欠陥が残っているかがすくにわかること
 - 会議などでチェック
 - そのタイミングでしかわからない
- ボリュームが把握しやすいこと
 - ぱっとみてボリュームがわかる
- 優先順位がはっきりわかること
 - 段階や分類ではない

バグレゴの試行



- チケットシステムに登録後、欠陥をレゴブロックで積む
 - チケット番号とサマリを記述した付箋を貼る
- ブロックの位置、積み方で欠陥の種類、優先度を表現する

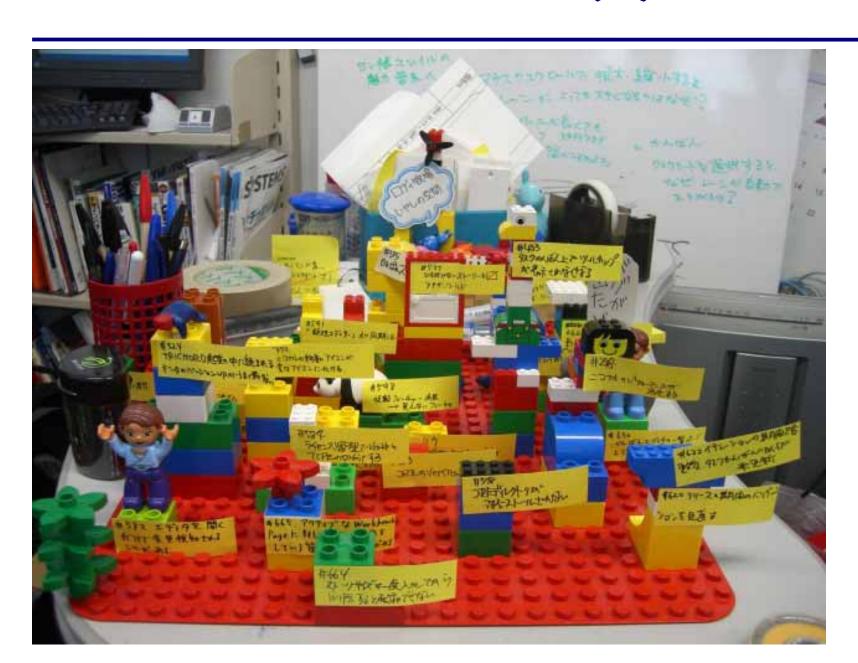
バグレゴの詳細



ある日のバグレゴ(1)



ある日のバグレゴ(2)



効果

- 誰でもわかる欠陥在庫
 - 開発者はもとより、マネージャー、営業でも
- 物理的制約による欠陥のサルベージ
 - レゴシートという物理的制約をつけることで一定量以上欠陥が増えないようにサルベージを強要される
- 開発者の欠陥に対するマインドセットの変化
 - ブロックを積むのが楽しい
 - 改修(=壊す)が楽しい
- 音が欠陥の報告/回収を知らせる

現状の切り分け

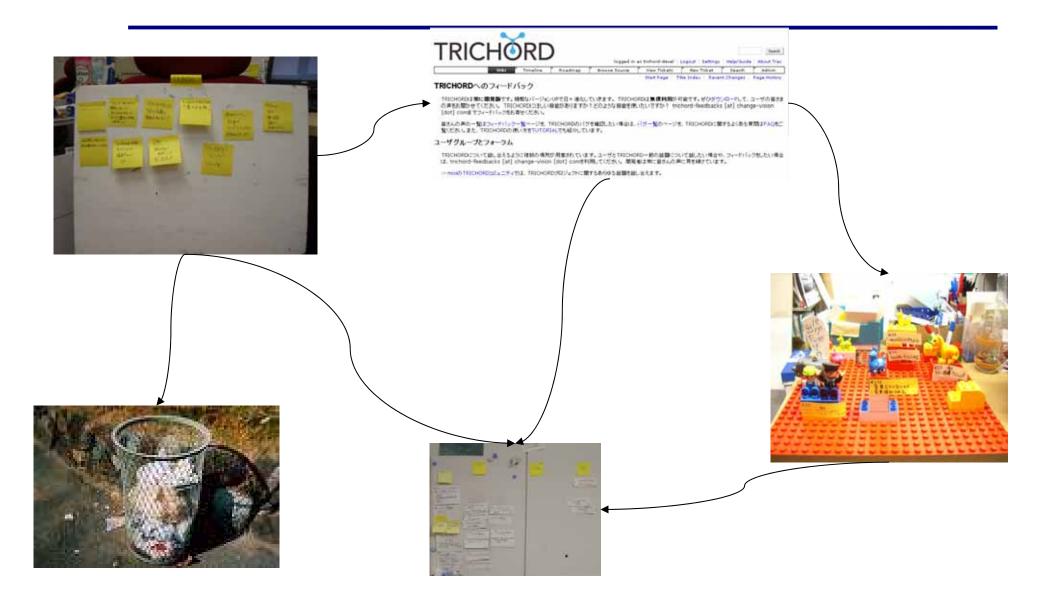
- 通常時の運用
 - 欠陥発見 INBOX チケット+レゴ
- 大量の欠陥が発生する場面(仕様変更など)
 - チケット+付箋(欠陥かんばん)で対応
 - 残った在庫のみレゴに積む

INBOX



- 気になること、問題だと思うことを付箋に書いて貼る
 - 別名課題ボード
- 切り分けと共有をチーム 全員で行う
- 毎日朝会の後に共有を 開催
- 伝えるのを忘れそうな連絡事項を貼っておくことも

INBOXからのフロー(通常時)

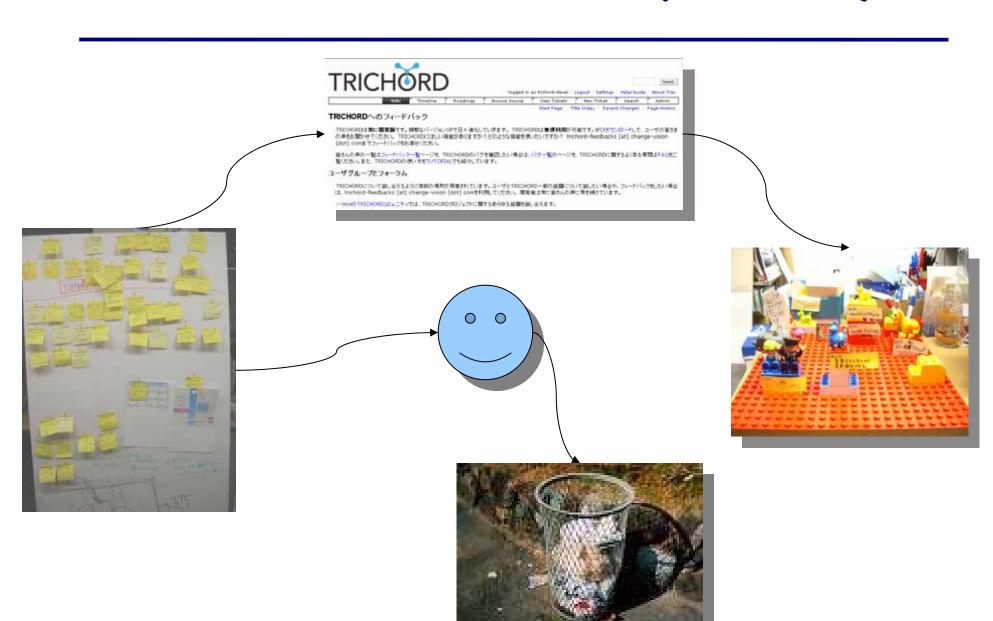


欠陥かんばん



- テストで欠陥あるいは疑問点などを付箋に書き出して貼りだす
- 内容をチームでチェックして内容を共有後、優先度を付けて上位から対応する
- すぐに対応しなくてもよい ものはチケット登録後バ グレゴに積む

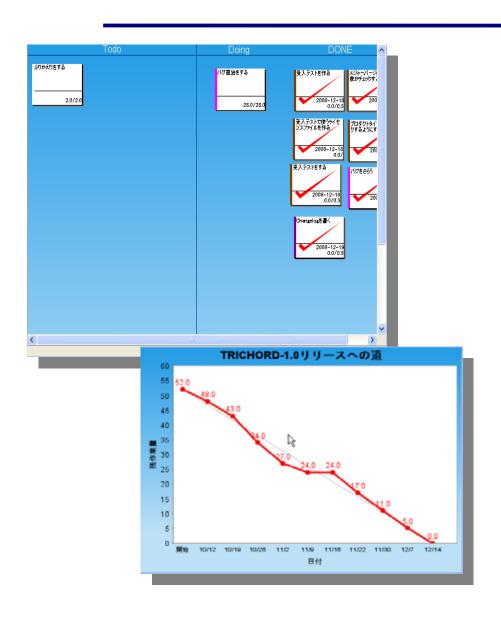
欠陥かんばんからのフロー(テスト時)



課題

- やはり二重管理の弊害はある
 - チケットシステムにあるが、レゴにはない
 - クローズしたのにレゴにある
- 大量の欠陥には対応しきれない
 - 積む行為の問題
 - 考える楽しさが逆に仇になる

今後の展開



- 基礎板の位置で欠陥の 場所を表現
- 二重管理の手間軽減
- 他のアイディアも
 - 方法に固執するのではな く、目的を達成できる別 の方法
- 弊社のTRICHORDで 欠陥在庫を見える化

御靜聽 ありが。 ざしまし